



テントウムシに^{みみ}耳はあるの

こん虫は音^{おと}を^き聞いている

こん虫の^{ちゅう}体^{からだ}を^{しら}調べて^{にんげん}みても、人間^{おな}やイヌ^{かたち}などと同じ^{みみ}ような^み形の^{みみ}耳は、^み見つかりません。しかし、^{ちゅう}セミ^{からだ}や^{しら}コオロギ^{にんげん}や^{しら}スズムシ^{おな}などが、^{かたち}うるさい^{みみ}ぐらいに^み鳴くのは、^な同じ^{おな}仲間^{なかま}に、^{にんげん}人間^{はなし}が^{おな}話^{あいず}をするのと^{おく}同じ^あように、^あ合図^あを送^あっている^あのです。オス^あが^あメス^あを^あよぶ^あために、^あ鳴^あいて^あいる^あことも^あ多い^あとい^あわれ^あます。すると、^あ鳴^あく^あのが^あ仲間^あには^あ聞^あこえ^あている^あはず^あです。体^あの^あど^あこ^あかに、^あ耳^あの^あ役^あ目^あを^あする^あもの^あが^あある^あはず^あです。

こん虫の^{みみ}耳^{みみ}の^あしく^あみ^あは^あさま^あざま

^{しら}調べて^あみたら、^あセミ^あは^あ腹^あ側^あの^あ足^あの^あつけ^あ根^ああたり^あに、^あ耳^あの^あしか^あけ^あが^ああり^あまし^あた。コオロギ^あや^あキリ^あギリ^あス^あは、^あ前^あ足^あの^あ曲^あが^あった^あす^あぐ^あ下^あに、^あ細^あ長^あい^あ小^あさい^ああ^あな^あが^ああり、^あそ^あの^あ中^あに^あ音^あを^あ感^あじ^ある^あ鼓^あ膜^あが^ああり^あまし^あた。トノサマ^あバッ^あタ^あは、^あ前^あ羽^あと^あ後^あろ^あ羽^あを^あもち^あ上^あげ^あると、^あ胸^あと^あ腹^あの^あさ^あか^あい^あめ^あの^あ両^あわ^あき^あに、^あ耳^あの^あしく^あみ^あが^あ発^あ見^あさ^あれ^あまし^あた。

^あガ^あの^あ仲間^あは、^あ胸^あや^あ腹^あの^あ両^あわ^あき^あに、^あ耳^あの^あしく^あみ^あが^ああり^あまし^あた。青^あ虫^あや^あ毛^あ虫^あなど^あは、^あ全^あ身^あに^あ生^あえ^あて^あい^ある^あ毛^あの^あ中^あに、^あ空^あ気^あの^あゆ^あれ^あで^あ音^あを^あ感^あじ^ある^あもの^あが^あある^あとい^あわれ^あて^あい^あまし^あた。

からだ^あぜん^あたい^あ かん^あ 体^あ全^あ体^あで^あ感^あじ^あて^あい^ある^あ？

テントウムシ^あも、^あ音^あが^あま^あった^あく^あ聞^あこ^あえ^あない^あ生^あ活^あを^あし^あて^あい^あると^あは、^あ考^あえ^あら^あれ^あま^あせ^あん。で^あす^あから、^あ何^あか^あ音^あを^あ聞^あく^あしく^あみ^あが^あある^あはず^あです。今^あの^あと^あこ^あろ、^あお^あそ^あら^あく、^あ体^あ全^あ体^あで^あ空^あ気^あの^あふ^ある^あえ^あ（^あ音^あ）^あを^あ感^あじ^あて^あい^ある^あの^あで^あは^あない^あか、^あとい^あわれ^あて^あい^あまし^あた。（監^あ修^あ・中^あ山^あ 周^あ平^あ）

